

氏名	千葉真希子	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	母性看護学、助産学、国際医療協力				
学位	修士（国際医療協力）				
学歴	2002年茨城県立大学保健医療学部看護学科卒業、2006年千葉県医療技術大学校助産学科卒業、2016年杏林大学大学院国際協力研究科国際医療協力専攻博士前期課程修了				
経歴	2002年茨城県立こども病院入職、2006年千葉県済生会習志野病院入職、2011年独立行政法人国際協力機構 青年海外協力隊派遣、2016年日本看護協会健康政策部助産師課入職、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教着任				
所属学会（役職）	日本助産学会、日本看護管理学会、日本母性衛生学会、日本母性看護学会、国際保健医療学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	産後2週間の母親の困りごとと産後ケアに対するニーズ	共著	あり		保健医療福祉科学,2021年11巻 p.1-8	星野 真希子, 鈴木 幸子, 千葉 真希子	2021年5月
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	臨地での母性看護学実習に近づけた学内代替実習の工夫と実践	共同		第3回日本看護シミュレーション学会学術集会	○千葉真希子 山本英子 柴田由里子 斎藤未希 東原亜希子	2022年2月19日	
2	ハイブリッド型母性看護学実習でのオンライン実習の実践と課題	共同		第3回日本看護シミュレーション学会学術集会	東原亜希子 斎藤未希 千葉真希子 柴田由里子 山本英子	2022年2月19日	
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	助産業務管理	○	4	科目責任者として、4年生の学習のまとめや国家試験対策等を意識した知識の定着が図れるよう講義担当者と相談した講義構成とした。			
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	分娩期のケア		9	遠隔演習のなかで学生が各演習の目標が達成や臨地実習等の実践をイメージしながら演習できるよう、演習担当および補佐を行った。			
2	母性看護学Ⅱ		6	演習では事例を用いながら実習をイメージしながら産褥期の退行性変化の観察を促せるよう工夫を行った。			
3	周産期のケア		14	遠隔でのグループワークなどを中心に、学生が対象者の特性を捉えた指導案作成や実践のイメージできるよう演習や補佐を行った、			
(3) 実習							
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	母性看護学実習		2021.5～2021.7 (うち7週間)	母性看護学実習(産科病棟実習)の学内代替実習実施にあたり臨地実習経験の少ない学生に臨地実習に近い実習教育の質を担保に務めた。臨地実習においても講義と実際のケアが結びつくよう看護計画立案の助言を行いながら実習を行った。			
2	総合実習		2021.7 (うち3週間)	産科病棟および外来において実習指導を行い、学生が妊娠中から退院後の生活がイメージをできるように関わった。			

3	助産学実習Ⅱ		2021.8~10 (うち6週間)	4年次生を対象に、分娩介助実習では情報の整理とアセスメントを活かした実践ができるよう、臨床指導者との調整に努めた。
4	IPW実習	○	2021.10 (うち1週間)	IPW科目責任者の地域担当として、地域FTおよび各施設FTを通して学生が遠隔実習できるようサポートを行った。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2021.4-2022.3	主指導 1名 副指導 0名
(5) その他				
	名称		期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	第12回学術集会埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 学会事務局運営		2021.11月13日 (Web開催)	学術集会のweb開催に当たり、学会事務局の一人としてホームページ担当、当日運営などを行った。
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第12回学術集会埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 学会事務局運営	埼玉県立大学	学術集会のweb開催に当たり、学会事務局の一人としてホームページ担当、当日運営などを行った。	2021.11月13日 (Web開催)
2	国際助産学	見陽学園看護栄養専門学校	諸外国における助産師教育とその活動、世界の中での助産師の役割	2021.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	学科等における委員会等		IPW科目責任者会の教員・施設担当の一員として、事前説明会や実習中の地域FTとして施設FT、教員FT、責任者間の調整などを行った。	2021.4~2022.3
2	学生支援		国際協力を目指す学生や県内での実習を経験していないことで就職先に悩む学部生、編入生の3、4年生からの進路相談を延べ5回程度受けた。	2021.4~2022.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名		主催	受賞年月
1	第3回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会 優秀演題賞		日本看護シミュレーションラーニング学会	2022.3.18
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			